

作業を正確に実施することです。指示された商品を過不足なく指定のコンテナへ積み終えることで、税関から特別な認可を受けて業務を遂行できることを常に意識しています。バンニング時には、出庫する商品の伝票を事務担当者が発行し、倉庫担当者と積み込み担当者が出庫伝票との照合を二重三重に行います。最終的にはシステム活用と人の目によるチェックを組み合わせ、誤りのない作業を徹底して継続することが不可欠です。

【サービスと品質向上への取り組み】

預かった商品は預かった状態で返すという使命のもと、商品取扱い、温度管理を含めて保管管理を徹底しております。また、顧客の要望に応じたラベル張り、ピッキングなどの作業にも対応可能な設備を整え、柔軟に対応が可能です。お客様から輸出決済が決まったと伺えば通関業者手配からバンニング、船積みまで一貫対応で輸出業務を行うことができます。

また、多様化する流通に対応するため、設備投資や人材育成、定期点検やスタッフ研修による品質向上、省エネルギーや持続可能な運営にも積極的に取り組んでいます。

【今後の展望】

今後、輸送手段が多様化し流通がグローバル化する中で、私たちは最新設備への投資や人材育成にも積極的に取り組んでいます。EU-HACCP 認証取得申請など、安全・安心なサービスを提供するため、定期的な設備点検やスタッフ研修を徹底し、高品質な保管・物流体制の構築を目指しています。また、省エネルギー対策や持続可能な運営に努め、環境にも配慮しています。今後も地域社会やお客様とともに発展し、信頼されるパートナーであり続けることを大切にしていきます。



九州製氷株式会社

執行役員 CSC 管理本部長

木藤 達成



<https://kyuhyo.co.jp/>



@OISHIKOORI